

第 5 回 Zoom 例会 (2020.10.24)

◇昨日もありがとうございました。カリキュラムは学校が理想とする子ども像をしっかりと共有することからスタートと思いました。うちはまず学級経営です。それを共通理解できたら、もしかしたら学校の雰囲気が改善されるかもしれません。しかし、今共有という感じが先生同士でないのが実情です。

◇とても勉強になりました。ありがとうございます。放課後の会もなかなか参考になりました。働き方改革は先生方のためだけではなく、その影響を大きく受ける子どもたちのためでもあります！これからもどんどん進めていきたいと思っています！働き方改革で下校時刻をいじる時には保護者や学童に子どものためという説明が必ず必要なのです！それと、竹野先生が仰っていた研究とカリマネを同時にやるっていうのを早速研修主任とに相談してみようと思います。

来月も楽しみにしています。よろしく願いいたします。お世話になりました。

◇日々の授業を考える時にイメージが出来ずに困る事が多いので、飯田先生の作られたようなカリキュラム・マネジメントがあるととても助かりますし、業務改善になるだろうなと思います。一方で、これの作成は日々の仕事の合間では後回しにしてしまっていて、結局やらないだろうなと思います。しっかり作成する時間を取ることや、A3の用紙に印刷して、何時でも自由に書き込めるようにして習慣化できると良いなと感じました。

学校教育目標にしても、具体的にどう実践に落とし込むか共有できるものだと、より意味のあるものになると思います。管理職の視点から教育について考えることができ、とても面白かったです。

◇ありがとうございました。90分があつという間でしたね。学校における立場で求めているもののイメージが異なっているのかと思いました。個人的には徳山小学校のご実践を今後の参考にし、振り返りは深川小学校のタイミングを参考にしたいと思いました。芝田先生 飯田先生そのほかの皆様ありがとうございました。

◇カリキュラム・マネジメントを通して、めざす資質・能力が明確になること、各教科等の関連、横断的な指導が可能になること、社会に開かれた教育課程につながることなど、目的や意図を明確にすることが大切だと感じました。徳山小の目指す力を明確にしたカリキュラムづくりはとても参考になりました。単元計画が効率的になり、コロナ禍の授業時間確保できるというよさも自覚したいと思います。子どもも教師も一緒に、「振り返り」が重要だと思います。しかし、今職員室では振り返る時間がないのが実情です。カリキュラム・マネジメントでは、振り返りの時間をいかに確保し、今年度の課題を整理して、次年度に手をうつ、次の学年にしっかりつなげることが大切だと思います。

◇今回は、参加者からいろんな意見をいただき、放課後タイムでは、大いに盛り上がり日頃の悩みもいただきました。テーマのカリキュラム・マネジメント（CM）という言葉が10年前からよく聞くようになりました。また、年間カリキュラムという言い方をされているところもあります。年間指導計画や単元配列表と捉えられている感じもします。それは、カリキュラム＝教育課程と考えているからでしょう。マネジメントにも様々なとらえ方や考え方があると思います。共通しているのは、自校の教育目標の達成のための営みです。この学校の教育目標がやはり新学習指導要領の考え方に則っているのか気になります。育成したい資質・能力を志向する必要があるのに、従前の三育主義の目標が多い気がします。今こそ、子どもたちの姿から、どのような資質・能力を育成するのか紡ぎ出すのか考えたいものです。

新採用者や若手教員が多くなる中、年間指導計画系のカリキュラムをつくり、マネジメントをしていくことで学校の教育目標の達成意識を醸成する必要性も感じました。一部分の教科等のみを取り上げ、CMとしても全体像が見えにくくなるので、やはり年間指導計画系のカリキュラムをつくりたいなと思いました。

生活時程の話も出ました。授業間の休息が5分の学校で、トイレにも行けず、膀胱炎になったという衝撃的な話もありました。子どもを追い立てる生活時程では、これからの子どもたちはますます落ち着かないし、教員の教材準備もほとんどできない現状は、ほんとに危ない学校生活となると思います。明日の授業や行事の準備ができる正常な学校を創っていくことが令和の時代に求められるのではないのでしょうか？